

## 県内トップクラスの生産量を誇る小倉南区で 「かつお菜」が出荷シーズンを迎えました



かつお菜は、アブラナ科の野菜で高菜の近縁種とされ、「魚のかつおに味わいが似ている。」や「かつお出しがいらぬ程味がある。」ことから名づけられたとも言われており、古くから縁起物として正月の雑煮には欠かせない野菜の一つとされてきました。

市内の産地である小倉南区では、昭和40年頃から水稻裏作の冬野菜として栽培が始まり、近年生産を増やして、県内トップクラスの産地になっています。

かつお菜はアクが少ないうえ、熱を通すと旨みが出て、色鮮やかでほんのり甘味が感じられる野菜です。汁の具や、煮物、和え物、炒め物など幅広く使用できます。

今季も11月上旬から出荷が始まり、年末年始に出荷最盛期を迎えた後、3月上旬まで市内のスーパーや青果店等で購入することができます。

### 記

- 出荷期間 11月上旬～3月上旬
- 主な生産地域 小倉南区 山本、春吉、高津尾、長行



#### 【問い合わせ先】

- 北九州農業協同組合  
東部営農経済センター  
電話：451-9210（直通）
- 産業経済局 東部農政事務所  
電話：951-1020（直通）